＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	薩摩　木の家
グループの名称	薩摩　木の家つくる会
直近採択グループ番号	06-0176-0794

（グループ代表者）

代表者名	有薗　米也　代表者印
代表者所属先	株式会社有薗
代表者所在地	鹿児島県鹿児島市谷山港1-3-36
代表者電話番号	099-262-1188

（グループ事務局）

事務局事業者名	ヤマエ久野株式会社　木材住資鹿児島支店
事務局担当者名	今林　秀晴　印
事務局郵便番号	891-0115
事務局所在地	鹿児島県鹿児島市東開町3-8
事務局電話番号	099-268-8121
事務局FAX	099-269-2342
事務局担当者E-mail	h.imahayashi@yamaehisano.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	薩摩　木の家
２．グループの名称(必須)	薩摩　木の家つくる会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0176-0794
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	鹿児島県
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	有薗　米也
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社有薗
８．グループ代表者所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市谷山港1-3-36
９．グループ代表者電話番号(必須)	099-262-1188
１０．グループ事務局事業者名(必須)	ヤマエ久野株式会社　木材住資鹿児島支店
１１．グループ事務局担当者名(必須)	今林　秀晴
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	891-0115
１３．グループ事務局所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町3-8
１４．グループ事務局電話番号(必須)	099-268-8121
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	099-269-2342
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	h.imahayashi@yamaehisano.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	国有林や海外から原木の調達を行う場合は原木事業者の出荷証明書・事業者認定書の取得はない
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	4	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	9	
Ⅵ．施工	12	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	合法木材	国内	合法木材証明制度	3	国内
	合法木材	国外	合法木材証明制度	3	国外
	認証かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度	1	国内
	かごしま県産材	鹿児島県	かごしま材の証明（認証かごしま材を用いる場合）	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	10	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟
			0	㎡
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	採択結果発表後、各工務店へアンケートを実施し、確定物件から優先に配分する。未経験工務店に対しては、都度アンケートを行い、予定物件においても最低1棟は配分出来るようにする。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	13	戸	交付申請戸数	12	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	12	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
国有林や海外から原木の調達を行う場合は原木事業者の出荷証明書・事業者認定書の取得はない

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
46	Ⅰ － 17	鹿児島県森林組合連合会		892-0816	鹿児島県鹿児島市山下町９－１５	099-226-9471
46	Ⅰ － 18	かごしま森林組合		897-0215	鹿児島県南九州市川辺町平山６１４０－１	0993-56-0079
46	Ⅰ － 19	霧島素材生産協同組合		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段４０１－２	0995-54-8055
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 20	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷３－１－１	0823-71-7141
46	Ⅱ － 21	株式会社西村		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段４０１－２	0995-54-8055
46	Ⅱ － 22	株式会社南薩木材加工センター		897-0133	鹿児島県南九州市川辺町下山田４２２８	0993-57-2677
40	Ⅱ － 23	株式会社ワイテックさつまセンター		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭４－５－１２	092-633-6151
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
40	Ⅲ － 24	ヤマエ久野株式会社		812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目１３－３４ エコービル	092-474-0711
46	Ⅲ － 26	株式会社トーナン		891-0105	鹿児島県鹿児島市中山町５２５０－１	099-267-7113
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
40	Ⅳ － 23	株式会社ワイテックさつまセンター		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭４－５－１２	092-633-6151
40	Ⅳ － 27	株式会社ワイテック鹿児島センター		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭４－５－１２	092-633-6151
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
46	Ｖ － 1	株式会社　建築工房匠		890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿５－３０－２	09-9264-2034	○	
46	Ｖ － 2	株式会社ベルハウジング		890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿一丁目２５－８	09-9250-0694	○	
46	Ｖ － 3	株式会社　福尚		891-0311	鹿児島県指宿市西方４５１８	09-9322-4529	○	
46	Ｖ － 12	有限会社ゆうあいプラン		897-0031	鹿児島県南さつま市加世田東本町１８－９	0993-58-2217	○	
46	Ｖ － 13	有限会社田建築工房一級建築士事務所		890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原７－６－５	099-250-6347	○	
46	Ｖ － 14	有限会社西川建設建築設計事務所		891-0151	鹿児島県鹿児島市光山２－４－１１	099-261-6515	○	
46	Ｖ － 15	有限会社建築の前原建築設計事務所		897-1125	鹿児島県南さつま市加世田益山７９７４	0993-52-7015	○	
46	Ｖ － 16	株式会社メープルホームプランニング		890-0084	鹿児島県鹿児島市郡元町１６－３５－１	099-206-0718	○	
46	Ｖ － 28	有限会社イヤダニ工務店設計事務所		891-1105	鹿児島県鹿児島市郡山町1218-6	099-298-2883	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							12	○	○
46	Ⅵ - 1	80711	株式会社 建築工房匠		890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿5－30－2	09-9264-2034	○	
46	Ⅵ - 2	80746	株式会社ベルハウジング		890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿一丁目25－8	09-9250-0694	○	
46	Ⅵ - 3	80724	株式会社 福尚		891-0311	鹿児島県指宿市西方4518	09-9322-4529	○	
46	Ⅵ - 4	80821	有限会社 田建築工房		890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原7－6－5	099-250-6347	○	
46	Ⅵ - 5	80820	有限会社 西川建設		891-0151	鹿児島県鹿児島市光山2－4－11	099-261-6515	○	
46	Ⅵ - 6	80818	有限会社 建築の前原		897-1125	鹿児島県南さつま市加世田益山7974	09-9352-7015	○	
46	Ⅵ - 7	80768	株式会社中森進建設		892-0871	鹿児島県鹿児島市吉野町6244－20	09-9243-1250	○	
46	Ⅵ - 8	80737	株式会社カナダプレイス		890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿2－21－1	09-9206-0711	○	
46	Ⅵ - 9	80727	株式会社 有薗		891-0131	鹿児島県鹿児島市谷山港1－3－36	09-9262-1188	○	
46	Ⅵ - 10	80795	西武ホーム 有限会社		891-0143	鹿児島県鹿児島市和田3－16－15	09-9268-7255	○	
46	Ⅵ - 11	81035	有限会社イヤダニ工務店		891-1105	鹿児島県鹿児島市郡山町1218-6	099-298-2883	○	
46	Ⅵ - 29		南薩産業株式会社		897-1123	鹿児島県南さつま市加世田高橋1935-97	0993-53-2700		○
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
46	Ⅵ－ 1	80711	株式会社 建築工房匠	8 戸	8 戸	4 戸	5 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
46	Ⅵ－ 2	80746	株式会社ベルハウジング	45 戸	42 戸	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
46	Ⅵ－ 3	80724	株式会社 福尚	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ－ 4	80821	有限会社 田建築工房	5 戸	5 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	3以下		○	○
46	Ⅵ－ 5	80820	有限会社 西川建設	4 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ－ 6	80818	有限会社 建築の前原	4 戸	4 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ－ 7	80768	株式会社中森進建設	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ－ 8	80737	株式会社カナダプレイス	29 戸	26 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ－ 9	80727	株式会社 有薗	10 戸	10 戸	4 戸	5 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
46	Ⅵ－ 10	80795	西武ホーム 有限会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ－ 11	81035	有限会社イヤダニエ務店	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ－ 29		南薩産業株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 薩摩　木の家	（地域型住宅供給対象地域） 鹿児島県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称） 薩摩　木の家つくる会	（結成年） 2012　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0176-0794	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	●省エネルギーに関わる共通ルール（優良建築物は除く）　・屋根の下地在には遮熱系の材料を使用し、通気層を設ける。　・開口部の断熱性能を高める。（冷房期の平均日射熱取得率（nA値）を下げる）　●耐震性能に関わる共通ルール（優良建築物型を除く）・土台は3.5寸角以上の材を使用する。・建物外周部で耐力壁とする場合は耐力面材を用いる。・地盤調査はスウェーデン式サウディング試験を行う。また、表面波（レイリー波）探査法との併用を提案する。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・居室にはLow-Eガラスを使用する。（窓の面する方位が真北±30度を除く）（優良建築物型を除く）　・住宅密集地においては、省令準耐火を提案する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・当グループの地域型住宅供給対象地域である鹿児島県は、強い日差しを避ける為に庇や軒の出幅が大きいものが取り入れられてきた。しかし、近年では現代風の住宅が多く見受けられるので、地域の伝統である要素を十分に考慮し、庇や軒をデザインに取り入れる。	○
④ ①～③の背景	・鹿児島県は年間平均気温が18,6℃（沖縄県に次ぐ全国2位）、年間降水量は2,265mmであり、温帯から亜熱帯気候に属している。　・奄美諸島。トカラ列島、大隅半島には夏から秋にかけて多くの台風が接近しており、日本有数の台風銀座を言われるほど影響を受ける。・上記ルールの趣旨を工務店に理解してもらい、「認証かごしま材」、「かごしま県産材」を使用することによって、「薩摩　木の家をつくる会」の鹿児島県での普及、促進を図る。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特に無し。	

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：土台に.35寸角以上の材を使用する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：居室にはLow-Eガラスを使用する。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構成員（設計、施工、建材流通、事務局）による検討会で、モデルプランを基に平成28年省エネ基準適合に則したグループの標準仕様を設定。平成28年省エネ基準に未対応の施工業者（未経験工務店）への事業活用を促す。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：プレカット事業者による、木材の同時購入を行うとともに、木材の安定的な供給を図る。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：プレカット事業者による、木材の同時購入を行うとともに、木材の安定的な供給を図る。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・事務局が構成員向けの研修会、勉強会を年に2回開催。研修会、勉強会終了後に原木供給・製材・建材流通・プレカット・設計・施工業者の代表者との話し合いの場を設ける。（代表者は各回により異なる）	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：・事務局が構成員向けの研修会、勉強会を年に2回開催し、「薩摩　木の家つくる会」における検討項目（木材の安定供給に係わる項目、及び、未経験工務店への対応など）の周知を行い、グループ全体で合理化に取り組む。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：・「住宅の省エネルギー技術に関する講習会（施工者向け）」における施工内容をグループの施工基準とする。　・専門工事を外注する場合、メーカーが施工IDを交付した事業者が行う。（太陽光パネル設置、断熱、外壁、瓦工事など）	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：・長期優良住宅の工務店による現場検査を計4回（配筋、中間、仕上げ前、竣工）行い、「薩摩　木の家」の共通ルールを事務局が作成するチェックシート（現場写真を含む）により管理を行う。・地域材において各構成員が波高する出荷証明書を在宅履歴譲渡として蓄積する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：・標準見積様式を使用する事により、高い品質の長期優良住宅を供給するグループであることをお客様に訴求する。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：・事務局開催のイベントであるハウズフェスタ（開催地：福岡）にて、信頼性向上に係る上記各取組み（標準仕様設計書、施工基準の設定、現場検査の徹底）について施主向けにPRを行う。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある　→	内容：	
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない	□ ある　→	内容：	
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある　→	内容：	
	④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない	□ ある　→	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		なし			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 薩摩　木の家	（地域型住宅供給対象地域） 鹿児島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 薩摩　木の家つくる会	（結成年） 2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0176-0794	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・「薩摩　木の家」の確実な維持管理を実行する為に、1、2、3、5、10年点検を行う。（優良建築物型を除く）	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：・第三者機関による住宅履歴情報の蓄積サービスである「リビングベル」の活用を推奨する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・長期優良住宅の「維持保全計画書」に基づく工務店の点検をグループで管理する。（優良建築物型を除く）	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・「薩摩　木の家」の確実な維持管理を実行する為に、1、2、3、5、10年点検を行う。（優良建築物型を除く）	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・「リビングベル」の付帯サービスである、メンテナンス・コールセンター（24時間、365日）の活用を推奨し、施主の安心、安全を確保する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・事務局主催の研修会時に各施工業者へ聞き取り調査を実施する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・事務局主催のイベントであるハウズフェスタ（開催地：福岡）にて、グループの「住まいの管理、及び、メンテナンス方法など」について、施主向けにPRを行う。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・事務局主催のイベントであるハウズフェスタ（開催地：福岡）にて、グループの「住まいの管理、及び、メンテナンス方法など」について、施主向けにPRを行う。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：・構成員（設計、施工、事務局）による「維持管理検討委員会」を設置し、定期的に検討会を実施	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：「維持管理検討委員会」で話し合われた検討内容については、事務局主催の構成員向けの研修会時に周知を行う。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：・施主への引き渡し後に、グループの工務店が廃業、倒産した場合、メンテナンスを引き継ぐ工務店（グループ内）を紹介する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			・住宅瑕疵担保責任保険の契約時に実施する内容説明の徹底と、瑕疵発生時の事務局による相談体制を整備する。 ・構造耐力上主要な部分、及び、雨水の侵入を防止する部分に関わる工事については、工務店による現場検査結果の報告を事務局に義務付け、共通ルールチェックシートで管理する。			○

エ．グループの技術力の向上

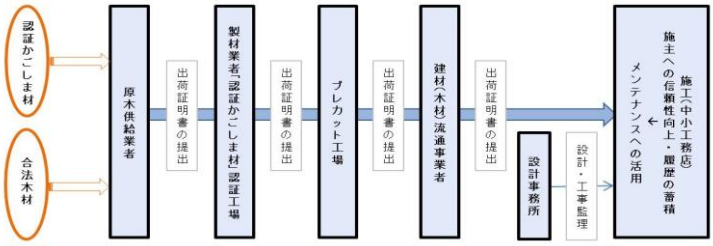
【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：・長寿命型、高度省エネ型における構造見学会や完成見学会に未経験工務店への積極的な参加を呼び掛け、技術力の向上を図る。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅の省エネ性能に係る施工の品質管理・向上を目的に、施工事業者による現場でのチェックを徹底させる	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：現場検査には、事務局が作成するチェックシートを使用し、事務局への提出を義務付ける	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：・採択結果発表後に説明会を開催し、施工事業者の本年度実施計画のアンケートを行い、グループとしての需給計画を策定する。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：・長寿命型、高度省エネ型の中長期目標を設定し、グループ全体として取組んでいく。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：・原木供給、製材、流通、プレカット：使用を指定している「認証かごしま材」が丸太の価格高騰や品不足の為、調達が困難となる場合が見受けられるため、年間使用量を想定し木材の確保に努める。又、価格の変動や木材の流通状況を工務店へ向けて発信する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　10		今年度の参加目標人数　10	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　2		今年度の参加目標人数　5	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：・未経験工務店に対して、鹿児島地区における省エネ技術講習会開催日時の案内を行う。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：・建材メーカーの新商品説明会などを開催し、新商品や工法に関する知識の向上を図る。 ・開催頻度：2回程度／年	◎
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			特に無し。			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 薩摩　木の家	（地域型住宅供給対象地域） 鹿児島県	
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 薩摩　木の家つくる会	（結成年） 2012 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0176-0794		

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・主要構造材（土台、柱、梁、桁）の過半（50%以上）には認証かごしま材を使用し、それ以外は地域材または合法木材とする。（優良建築物型を除く）・住宅の木拾い表、鹿児島県産材出荷証明書、認証かごしま材出荷証明書、合法木材の出荷証明書の照合で確認する。（優良建築物型を除く）	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	・一部工務店（構成員）においては、手刻みで施工を行う場合がある為、地域材の流通の中で、製材、集成材製造、合板製造者グループから直接購を行う場合がある。また一部、建材流通事業者を介さずに、地域材の調達を行う可能性がある。  	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・年間使用量を想定し木材確保に努める。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・価格の変動や木材流通状況を把握し、工務店に向けてプレカット工場や事務局から発信する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・需要予測を行い、「認証かごしま材」「合法木材」について情報提供が必要な場合は、適宜、「グループ研修会」、「電話連絡」などにて情報提供を行う。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）　60　枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数：　200　坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　20　枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　20　枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・外国産（低価格）のい草が市場の多くを占めているが、地域産業の活性化と日本の畳文化を守る為にも国内産（八代産）のい草を畳表に使用した畳を推奨する。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・鹿児島県で造られるいぶし瓦は「日置瓦」と「鹿屋瓦」があり、双方とも変色が少なく、風に強いという特徴を持つ。台風銀座と言われる鹿児島県の風土に合った瓦である為、使用を推奨する。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：鹿児島県の強い日差しを避ける為に庇や軒の出幅の大きいものを取り入れる。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・地域型住宅を供給するだけでなく、グループとして地域のコミュニティにも良好な住まい方（環境）を提供する為に、上棟時や竣工時にイベントを開催するなどして、周辺住民とともに良好な住まい方を形成（環境づくり）する取り組むを実施し、継続的に行う。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・駐車場とアプローチ部分を除く接道距離を4割以上で植栽を行う。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・事務局開催のイベントであるハウズフェスタ（開催地:福岡）にて、信頼性向上に係る上記各取組み（標準仕様設計書、施工基準の設定、現場検査の徹底）について施主向けにPRを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特に無し。	

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	・復旧需要により東北地区で施工業者などの職人が不足した場合は、グループ内の施工業者へ事務局から応援要請を行う。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・復旧需要により熊本地区で施工業者などの職人が不足した場合は、グループ内の施工業者へ事務局から応援要請を行う。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 薩摩　木の家	（地域型住宅供給対象地域） 鹿児島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 薩摩　木の家つくる会	（結成年） 2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0176-0794	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅】
・グループで作成する「標準仕様」をベースとした、高い省エネ性能に加え、鹿児島県内の木材を多用した地域型住宅を供給する

【ゼロエネルギー住宅】
・グループの標準的な仕様については、「標準仕様書」、及び、様式5-1を基準とするが、より高い省エネ性能を有する住宅の普及促進を目的とし、以下の削減率を目標とする住宅についても、グループで推奨する。
（グループ研修会などで周知、推奨を行う。目標戸数：グループで取組むゼロエネルギー住宅の3割程度）

〔住宅の仕様〕
【ゼロエネルギー住宅について】
［仕様］
・躯体の断熱性能（外皮性能）の向上を目的に、居室の開口部については、［半樹脂サッシ＋Low-E複層ガラス］を推奨する
・パッシブデザインの積極的採用［例：通風の確保、高窓の設置、軒庇の設置、等］
・照明設備について、住宅全体でLED照明を推奨する
・空調設備について、エアコンを採用する場合は、省エネ区分の（い）を推奨する
・給湯設備について、高効率給湯器（エコキュート）を採用する場合、JIS効率3.6以上の機器を推奨する

〔6,7地域共通の削減率・性能値〕
Ro値（太陽光を除く削減率）：25%
R値（太陽光を含む削減率）：120%
UA値：0.60以下
ηAC値：2.4以下

【優良建築物型】
・グループ内に住宅のみならず、建築物においても先進的な取り組みを実施している事業者が存在する。該当の施工事業者を先導者とし、グループ全体で一定の良質な建築物の供給に取り組む為の施策の一つとして、当グループでは「優良建築物型」にも取り組むものとする。
・当グループで定めた共通ルール（省エネ性能、パッシブデザイン、等）を建築物にも積極的に取り入れるとともに、建築物の内外装の木質化に資する取り組みとして、地域材（認証かごしま材）の活用（地域材の使用材積目標：床面積の過半）を推奨する。
・優良建築物型には、ビルエネルギーマネジメントシステム（BEMS）の導入、及び、太陽光発電システムと定置型蓄電池の連携による創蓄連携システムの導入を推奨する。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。